1 組織概要

所在地	神奈川県鎌倉市御成町18番10号
TEL	0467-23-3000(内線2792)
FAX	0467-23-8700(代表)
URL	https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/shisei/chousakenkyu/index.html
e-mail	souzo@city.kamakura.kanagawa.jp
設立	2011年4月1日
設置都市等	鎌倉市
代表者	高木 賢一郎(政策創造課長)、松本 節子 (当部署は自治体内シンクタンクの位置づけで設置され、現在は通常の機構における1課として 存在している)

2 組織動向

(1)沿革			
設置経緯	早長期的な都市像を構築するため、山積している課題について詳細な調査研究を行い政策成の基礎とするとともに、施策の充実を図る観点から、平成23年4月1日に、これまで経営企業の所管事務であった「地方自治運営に関する調査及び研究についての事項」を所管する職として、市の組織機構の中で「鎌倉市事務分掌条例」に定められた部には属せず、部相当時命担当として「政策創造担当」が設置された。 政策研究の手法が整理されてきたことに加え、平成27年4月1日より研究と施策の連携をより なする目的から、経営企画部内の課として「政策創造課」を設置した。		
見直しの動向	上記のとおり		
役割(2017年時点)	(1)市政全般に関する中長期的な課題の調査及び研究についての事項 (2)市政全般に関する基礎調査及び庁内基礎データの活用促進についての事項 (3)庁内の政策形成支援及び政策形成能力の向上についての事項 (4)庁内横断的に取り組むべき新たな課題に関する調査及び研究並びに施策の立案について の事項		
(2) 組織体制			
設置形態(択一)	☑ 自治体の内部組織□ 常設の任意団体(提言等を行う会議体型の団体も含む)□ 公益法人(財団法人・社団法人)□ 大学の附置機関□ 広域連合□ その他		
常勤職員数	5人		
うち常勤研究員数	5 人		
非常勤研究員数	3 人		
専門性確保に関する特徴 <u>(複数選択可)</u>	□ 専門的な知識を有した研究員の採用 □ 外部有識者の活用(研究員として採用した者を除く) □ 大学・非営利活動法人等と連携した研究の実施 □ 設置市の企画部署と連携した研究の実施 □ 設置市の関係部署と連携した研究の実施 □ その他 □ 特に行っていない		
庶務体制	当部署は自治体内シンクタンクの位置づけで設置されたが、機構に位置付けられた組織であるため、庶務は自治体の「部署(課)」の庶務として行っている。		
市民参加、外部連携			
(3)会計			
会計規模※人件費・間接費(>	ナフィス賃借料、水道光熱費等)は含まない		
2017年度予算	245 千円		
2016年度決算	12,990 千円		
2015年度決算	7,740 千円		
	順位 収入種別		
自治体の内部組織以外の団体の場合の事業活動収入の	1位		
体の場合の事業活動収入の 主な内訳	2位		
王な内訳 (多い順に選択)	3位		
(グリックに) (グリック)	4位		
	順位		
<u>自治体の内部組織</u> の場合の	1位 設置部局の予算		
事業活動収入の主な内訳	2位		
(多い順に選択)	3位		
	4位		

組織名	鎌倉市政策創造課
111 111 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	

3 活動動向

(1)活動実績				
	調査研究名	調査研究の概要 (研究成果を閲覧できる機関(国会図書館等)や URLがある場合は末尾に記入)		
2017年度に実施した 調査研究				
定期刊行物				
(2)活動のマネジメント状況				
ア テーマ決定 (複数選択可)	□ 設置市からの要請 □ 外部有識者等からの助言・示唆 □ 貴団体・組織で、設置市の総合計画等に明記された重要課題から選択 □ 貴団体・組織で自ら発案 □ その他(総合計画を所管する企画計画課との連携により、中長期的、庁内横断的なテーマについて選定を行う。)			
イ 情報発信 <u>(複数選択可)</u>	□ 設置市の議員や幹部職員に、報告や提言を行う □ 設置市の関係部署に、報告や提言を行う □ 設置市の庁内の広範囲に、成果物を配布する □ 報告会を実施する □ 日常的活動を、HP・メールマガジン・ニューズレター等で周知する □ その他(CR-1グランプリなど各種コンテストへの応募や雑誌等へ寄稿している。) □ 特に行っていない			
ウ 活動の評価とその反映 (複数選択可)	□ 設置市の行政評価制度により評価を受けている □ 運営委員会等、貴団体・組織の運営に関わる機関から評価を受けている □ 外部有識者から評価を受けている □ 報告会・アンケート等の機会を設けて、評価を受けている □ その他(CR-1グランプリへの応募) □ 特にそういう機会はない			

4 特記事項

	· IANGTON		
研究員の業務分担	担当制での実施		
研究員の専門性 育成の手立て	○政策形成能力向上の研修等の実施及び参加○外部研修への参加○非常勤研究員等については、調査研究テーマに合った人員配置を行っている。		
研究員のキャリアパス等	研究による専門性育成や、取り組んだ研究成果等と結びついたキャリアパスが望ましいと考えている。		
その他			